

横浜港・バンクーバー港 姉妹港締結40周年！ ～オンラインで40周年記念式典を開催しました！～

横浜港とバンクーバー港は、1981（昭和56）年5月の姉妹港締結から40周年を迎えました。これまでバンクーバー港とは、セミナーの開催や職員の派遣などを通じて交流を深め、両港の友好関係を築いてきました。

本日、姉妹港締結40周年記念式典をオンラインで開催し、気候変動への影響を緩和し両港の長期的な繁栄を確かなものとするための相互理解と連携強化について覚書を更新しました。

1 姉妹港締結40周年記念式典について

(1) 日時：令和3年8月6日（金）9:00～10:00

(2) 参加者：

【バンクーバー フレーザー ポート オーソリティ】

社長兼最高経営責任者 ロビン・シルベスター氏
企画運営担当副社長 ピーター・ゾッタ氏 ほか

【横浜市港湾局】

港湾局長 中野 裕也
山下ふ頭再開発調整室長 新保 康裕 ほか



(左から)
新保室長
中野局長
ピーター・ゾッタ副社長
ロビン・シルベスター社長
蝦名政策調整部長

○バンクーバー フレーザー ポート オーソリティ社長のコメント（要旨）

姉妹港の40年にわたる結びつきおめでとうございます。
1981年に関係が始まって以来、お互いに連携と交流を通じてきた成果の証となります。
お互いに今後も継続的に協力していけるものと期待し、国際貿易を促進するためにそれぞれの義務を果たす努力をしていきましょう。
横浜港に心からの親愛の念を贈ります。

○横浜市港湾局長のコメント（要旨）

姉妹港締結40周年を祝うことができ、感謝申し上げます。
オンラインではありますが、こうして記念すべき日を迎えられた事は大変喜ばしいことです。
今回40周年という節目を迎えますが、両港の絆を更に深め、今後もより一層活発な交流を続けることができれば幸いです。
バンクーバー港の益々の発展と、両港の友好が深まることを祈念します。

2 覚書全文

横浜港とバンクーバー港は、1981年5月15日に姉妹港提携以来、両港間の貿易の発展と経済協力の一層の促進を目指して、良好な友好関係と緊密な協力関係を築き上げてきました。

今年姉妹港提携40周年を契機に、両港の更なる発展をめざし、情報・専門知識の交換などを活発に行い、特に、気候変動への影響を緩和し両港の長期的繁栄を確かなものとするための相互理解と連携を強化していくことを確認しました。



3 記念品について

今回、バンクーバー港への記念品として、横浜マイスターの一人、大木しのぶマイスター（陶磁器絵付師）に絵付けをしていただいた絵皿を贈呈しました。

絵皿の中央には、みなとみらいの風景と富士山が描かれ、ヨコハマの名を冠した黄色い薔薇「ローズ・ヨコハマ」が華やかなアクセントを添えており、周囲には港の四季の風景があしらわれています。日本の伝統的な色使いや、縁起が良いとされる吉祥文様が随所に散りばめられており、現在の横浜港と和の表現様式が融合したデザインとなっています。



記念品 絵皿

○大木しのぶマイスターのコメント

バンクーバー港との姉妹港締結40周年をお祝いする記念品の制作に携わるという貴重な機会を頂戴し、大変光栄に存じます。

陶磁器は半永久的にその存在と輝きを失いません。そのため、両港の友好関係を示す記念品として、まさに相応しい素材だと思っております。

制作にあたり改めて横浜港の風景や建物を見直し、その美しさや計算されたデザインなどに感銘を受け、こうした横浜の魅力を感じていただけるようにと、心を込めて描かせていただきました。



大木しのぶ マイスター

【参考：横浜マイスターとは】



横浜市は、平成8年度から、市民の生活・文化に寄与する優れた技能職者を「横浜マイスター」に選定しています。

技能職の後進の育成及び貴重な技能の継承を含む横浜市における技能職の振興を図るため、横浜マイスターは、技能職者の代表として、学校や地域の施設などで実演、講演、体験指導などの活動をしています。

お問合せ先

港湾局政策調整課長

洞澤 実 Tel 045-671-2877